第１学年国語科「のりもののことをしらべよう　ーいろいろなふねー」単元構想図（総時数13時間）

本単元で必要とされる既習の基礎的・基本的な知識・技能及び考え方

（６月）
「どうぶつのはな」
①　複数の対象を同じ文章構成で説明する。

（６月）
「は」「を」「へ」
②　助詞

（６月）
「よんでよんで」
③　句読点

（６月）
「きいてきいて」
④　発表会を開く。

（７月）
「おおきなかぶ」
⑤　繰り返しの表現

（９月）
「かんじのはなし」
⑥　説明のための文型

（10月）
「サラダでげんき」
⑦　繰り返しの表現

【指導計画】

時	主な学習活動・内容	基礎的・基本的な知識・技能及び考え方の活用		活用を促進するための手だて
1	教科書の写真や、船の見学及び乗船経験について話し合い、全文を通読する。 Ａ　乗り物に関する知識、教材文に出てくる船の種類や大まかな内容 言　写真を見て気付いたことや、船を見たり乗ったりした経験について話し合う。	①⑥	既習の説明文の書き方を想起する。	既習の説明文の書き方を想起させるために、「どうぶつのはな」と「かんじのはなし」の本文を読ませ、表現の仕方を振り返らせる。
2	面白かったこと、もっと詳しく知りたいこと等を出し合い、学習の見通しを立てる。 Ｂ　学習の見通し 言　全文を読んで、おもしろかったことや、もっと知りたいことを、ノートに書く。	Ａ	四つの船について、初発の感想を書く。	四つの船について初発の感想をもつことができるようにするために、前時で提示した４種類の船の写真を再度提示したり、前時の話し合いを想起させたりする。
3	「きゃくせん」と「フェリーボート」について書かれていることを読み取り、ワークシートにまとめる。 Ｃ　役目と構造の読取りと表現の仕方 言　客船とフェリーボートの役目と構造について話し合う。	Ｂ	初発の感想から課題を導き、解決する。	客船とフェリーボートについて、叙述に即して読み取らせるために、児童が書いた初発の感想を船の種類によって分け、それをまとめて学習課題として提示する。
4	「ぎょせん」と「しょうぼうてい」について書かれていることを読み取り、ワークシートにまとめる。 Ｄ　役目と装備の読取りと表現の仕方 言　漁船と消防艇の役目と装備について話し合う。	ＢＣ	前時の学習の仕方を生かして、役目と装備をまとめる。	漁船と消防艇の説明が、役目と装備と使い方の３段落構成であることを読み取らせるために、前時と同じ形式のワークシートを準備する。
5	全文を通して、同じ言葉を探し、いろいろな乗り物についての説明文の書き方を確認する。 Ｅ　乗り物の説明文を書くためのキーワード 言　４種類の船の説明に共通するキーワードについて話し合う。	①⑤ ⑥⑦ ＢＣ Ｄ	定型文という観点から、全文を見直す。	定型文という観点から全文を見直させるために、全文を書いた大判用紙と、全文を写したワークシートを準備し、サイドラインを引きながら、作文に活用できる定型文を確認する。
６ 本 時	**「しょうぼうしゃ」や「きゅうきゅうしゃ」の役目と工夫（構造・装備）について説明するための表現方法について話し合い、説明文を書く。** **Ｆ　乗り物の説明文を書くための表現方法** **言　生活科で調べたことを基に、説明文を書くためのキーワードを用いて、消防車、救急車についての説明文を書く。**	**②③ ⑥Ｃ ＤＥ**	**教材文の段落構成や定型文を活用して、説明文を書く。**	**教材文の段落構成を活用させるために、前時で使用した大判用紙の色分け（役目・工夫・使い方）で３段落構成にしたワークシートに作文を書かせる。定型文を活用させるために、本文の定型文を確認し、十分に活用できない児童には、ヒントカードを渡す。**
7	いろいろな乗り物の本を読み、読んだ本について発表し合う。 Ｇ　資料としての本の情報 言　自分の選んだ乗り物の本の紹介をする。	ＢＦ	役目と工夫という観点から、調べやすい本の情報提供をする。	調べる目的に応じた本を探すことができるようにするために、児童の本を持ち寄らせたり、図書館から本を借りたりして、できるだけ多くの本を準備する。
8 9	好きな乗り物を選び、その乗り物の役目と工夫についてメモをとる。 Ｈ　それぞれの乗り物の役目と工夫 言　乗り物の本を読んで、その役目と工夫をワークシートに書く。	ＣＤ ＦＧ	四つの船のまとめ方を生かして、役目と工夫をメモする。	それぞれの乗り物の役目と工夫をメモさせるために、乗り物の種類・役目・工夫・使い方の項目を設けたワークシートを準備する。
10 11	調べたことを基に、自分の「のりものずかん」を作る。 Ｉ　文型を活用した表現の仕方 言　教科書で学んだ文型を使って乗り物の説明を書く。	ＦＧ Ｈ	メモを基に、文型を活用した文を作る。	本文の文型を活用させるために、本文を読み取った際に使用した大判用紙を、教室の見やすい所に掲示しておく。
12 13	聞き方の観点を確認し、発表会を開き、感想を述べ合う。 Ｊ　友だちの発表のよさ 言　乗り物について説明した図鑑を紹介したり、友だちの発表のよさを述べたりする。	④Ｉ	作った図鑑の中から、１ページを紹介する。	よりよい発表会にするために、既習の「きいてきいて」の学習を振り返らせ、話し方・聞き方について確認する。